

和光の緑と湧き水だより 会報 Verda 235号

NPO 法人 和光・緑と湧き水の会 白子大坂ふれあいの森の会 (会長堀文雄)

会報発行 2025年1月号 作成 湧き水の会代表理事 高橋絹世 (048-462-9912)

身近な自然を **知り 守り 伝えよう** <http://wako-wakimizu.org/>



白子小4年生「湧き水観察」の案内をしました 「湧き水観察と白子宿の歴史を学ぶ」 2024年12月5日



12月5日(木) 昨年に引き続き白子小4年生の「湧き水観察会」が行われ当会のメンバーが案内しました。熊野神社に13時50分に全員集合し、会のメンバー8名紹介。(沖野、高橋勝緒、北川、松本夫妻、芝、青木、絹世)

各クラス1, 2名コース案内者がついて、富澤湧水、大坂ふれあいの森、熊野神社(白子宿の歴史など)は3名が担当し、3クラスがローテーションで見学。歴史の古い白子小の生徒たちに、大切な地域の宝「白子宿や湧き水」を知ってもらいたいと、手作りの地図や紙芝居「ぼくのゆめはわき水になること」なども取り入れて80名の生徒に紹介しました。

石ころの多い礫層と粘土の地層を実際に見学、湧き水が湧き出す仕組みがすぐに理解ができました。とがっていない丸い石は、遠くから水に流されコロコロ転がって、台地の末端部にたどり着いた石。小石が多く詰まっている石ころ層、その下には粘土の層が水平方向に、壁を作って水を通しません。その境目から湧き水がポタポタ湧き出しているのがわかります。

大坂ふれあいの森では、6万年前の火山の噴火がもたらした帯状の地層も観察しました。森をぐるりと回ると、細い水路があり湧き水が巡っています。

熊野神社では、昔の白子宿や川越街道の様子を、地図上に色で塗って紹介しました。最後に神社から白子小学校へは白子宿通りを通り、滝坂を登って学校へ。この急坂は昔は通れなかったために、この宿場から大坂の道をまわったことを伝えました。歴史としてはまだ難しいかもしれませんが、創立150年の歴史ある小学校にふさわしいコースを紹介しました。



第三小学校3年生「和光の湧き水について」授業をしました 2024年11月28日

11月半ばに、第三小学校教頭先生から、3年生向けに「和光の自然、湧き水など」についてお話をしてほしいとの依頼がありました。日程を調整したところ、11月28日に決まりました。急なことで準備もあり高橋勝緒が対応しました。また、紙芝居も紹介する機会となりました。



紙芝居の画像を取りこみプロジェクターで映し生徒たちに「ぼくのゆめはわき水になること」を紹介。湧き水がどこから、どのように地下に浸透し、きれいになって湧き出すかを伝えました。最後に「どうして石ころを通り、きれいな水になるのか」など活発な質問がありました。長い間にきれいになった土や石は、流れてきた水についたものを吸着してくれるのでしょうか。ということをお伝えしました。

12月8日に富澤湧水で「湧き水観察と押し葉づくり」を実施、三小の生徒も参加しました。押し葉づくり観察会の様子を合わせて画像で届けます。



11月、12月、1月の新倉ふれあいの森 活発な保全活動



新倉ふれあいの森では、シイタケ栽培が盛んです。森の整備中にでた幹を原木に、シイタケ菌を埋め込み、竹藪の一面に2年間被いをかぶせて菌の成長を待ちます。今年は大きなシイタケが収穫でき、とっておいた干しシイタケも併せて収穫しました。1月には竹の伐採体験会を開き、参加者に切り出し方の講習をしました。今後の参加者の活躍を期待します。

また新倉ではクイムシが発生し冬に向けてコナラ、クヌギ数本の伐採が予定されています。

みなみ保育園で紙芝居「ぼくのゆめはわき水になること」

2025年1月16日 みなみ保育園・年長組の2クラスで紙芝居「ぼくのゆめはわき水になること」を紹介する機会がありました。公園みどり課が保育園に勧めていただき実現した事業です。園児たちは「わき水の紙芝居」を待ち構えていました。

先ず紙芝居と湧き水の写真やパネル、和光の地図、湧き水レポート、さらに富澤湧水で収集した土のバック3種類（赤土、礫の石ころ、粘土層の粘土）を並べました。紙芝居のお話の中で紹介する小物たちです。さすが年長組、園児の皆さんちゃんと座って注目。なるべく園児と会話を取り入れながらいよいよはじまりはじまり〜〜！！

皆さんのゆめを聞いたところ「あるあるいっぱいある」、なんと「平和！！」などのゆめがあり、おどろきと同時に感心しました。

もくもくおっきなくもからあめになってじめんにしみこみ、じめんのなかでいしころやいきものにであい、ねんどのすべりだいからそとにわきだすストーリー。しっかり見てくれました。土バックの中のねんどをぺたぺたさわったり、さらに大坂ふれあいの森や富澤湧水のレポートカードの映像を見たりで大活躍。電波が届きにくく映像がときどき切れてしまいました、が、森の様子や湧き水の水音を感じ、自然観察ながらの体感ができたようです。最後に絵本を各クラスに提供しましたまた大喜びでした。



下新倉小学校3年生3クラスの湧き水授業 1月15日

昨年も実施しましたが、今年の3年生の授業では湧き水紹介20分、金泉寺ご住職の「湧き水利用のお話し」が企画されました。会ではいろいろな会員が発表できる機会として、今回は松本忠輝さんがパワーポイントで紙芝居を紹介し勝緒さんが「和光の湧水」の講話をしました。この時に3種類の土（赤土、石ころ、粘土）をバックした物を生徒全員にまわして見てもらいました。短時間でしたが、和光に湧き水がわく事、という特別の自然の仕組みが理解できるようすすめました。その後の金泉寺ご住職のお話。かつて新倉には、一面に新倉田んぼがあって各田んぼに水が行きわたる様に水路がありました。しかしながら水争いもあり、さらに2年もの間雨が降らず、雨乞いの行事の時に金の竜が現れ、泉が湧き出し「金泉寺」と言い伝えられたこと、新倉にはかつてため池があって

近隣の村同士共有して使われていた、との講和をお聞きする機会がありました。



11月,12月,1月の大坂ふれあいの森の会 活発な保全活動

白子大坂ふれあいの森の会は会長堀文雄氏のもと、毎月第3水曜日午前9時半～10時半ごろまで大坂ふれあいの森で活動し、湧き水の会も参加しています。ここはかつての川越街道の宿場町「白子宿」のはずれにあり大坂通り沿いの緑に覆われた斜面林、湧水が湧き出ています。周辺は住宅が次々と建てられ、歴史的に重要な「佐和屋」も解体が終わりマンション計画が進む地域です。家が増える中で森の中の水路の湧水が増えてきています。すり鉢状の地形があり、急な崖地の上部にはめずらしい地層「東京軽石層」を見ることができます。カタクリ、イチリンソウの自生地を残す活動、草地や急な斜面のつる植物の処理など、狭いながら様々な手入れが重要です。



2025年 2月～5月 予定表

予定	全体会	富澤湧水	新倉ふれあいの森	大坂ふれあいの森
2月		8日 土曜日9時半～ 斜面と水路、巨樹シラカシの観察保全	15日(第3土9時～) 竹林整備・落ち葉掃き	19日(第3水) 水路清掃・キツネノカミソリ観察
3月	3月20日10時～ 名栗げんきプラザ 「和光の湧き水観察」の案内協力	9日(日)活動は午後 13時～14時半 ヒロハアマナと湧き水 観察会、及び保全整備	15日(第3土9時～) 森・竹林整備・ カタクリ観察	19日(第3水) カタクリ, ニリンソウ, イチリンソウ観察
4月	29日(祝日) つつじ祭り出店 熊野神社境内	12日 土曜日9時半 斜面ツルや笹刈り ヒロハアマナの種や 成長の観察	19日(第3土)予定 (事前にタケノコ の様子を観察) 春の野草観察と タケノコ掘り体験	16日(第3水) イチリンソウ カタクリ、ニリンソウ など観察
5月	31日(土) 和コラボ祭り参加 湧き水の会総予定 第3又は第4土曜	11日(日曜日) 草刈り、水辺の整備など	17日(第3土9時～) 竹林、斜面林整備	21日(第3水) 草、ササ刈り 水路整備

2025年総会は5月第3又は第4土曜日を予定しています。(コミセンを予定)

総会の準備として、年間総まとめ会計報告と予算、これから詰めていきます。このところの季節変化、特に気温上昇は急激で、このような中で早めの活動に皆さんご協力ください。